

外国語活動学習指導案

学習者	附属小学校1年1組29名
指導者	木村 友哉 (3 / 3モ①)

学習者	附属小学校1年2組30名
指導者	入不二裕子 (3 / 3モ②)

学習者	附属小学校1年3組30名
指導者	大西 一豊 (3 / 3モ③)

単元名 にじいろぺっコロードをつくるために、 ともだちというカードをこうかんしよう

1. 単元の目標

「ぺったんコロコロ」で作った作品を全校のみんなに見せて笑顔になってもらうために、クラスの友達と、色を尋ねたり答えたりする。

2. 単元について

必然性	全校のみんなに虹色のぺっコロードを見てもらうために、友達と色カードを交換し、自分の好きな色を集める
リアル感	好きな色を尋ねたり、色カードを交換したりするためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	クラスの友達と色を尋ねたり答えたりして色カードを交換し、友達の好きな色や友達がつくった色カードの良さについて尋ねたり答えたりして知る楽しさ。
相手意識	友達の好きな色や友達がつくった色カードの面白さについて尋ねたり答えたりすることを通して、虹色のぺっコロードをつかって、全校のみんなに見せて笑顔になってもらおうとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

○ What color?

○ red, yellow, pink, green, purple, orange, blue

[既出] 挨拶

[期待する既習表現] Hello. See you. Thank you. I'm sorry.

Here you are. I see. Your turn. My turn. Don't worry.

Wonderful. Beautiful. Fantastic. Marvelous.

4. 該当する学習指導要領における領域別目標

話すこと の 取り	中学年外国語活動の 学習指導要領 【CS】	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。
	Challenge リスト 【CL】	(ウ) サポートを受けて、自分の名前、体調や気分など自分や相手のこと及び数字や色・形、曜日、時間など身の回りに関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしようとする。

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと の 取り	色の言い方や、What color? を用いて尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	色カードを交換するために、尋ね方に気をつけながら友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしている。	色カードを交換するために、尋ね方に気をつけながら友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしようとしている。

6. 単元計画（3時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価の観点（評価規準）〈方法〉
図 工	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ふぞくしょう スマイルいっぱい にじいろぺっコロードをつくろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身のまわりの物でぺったんしたり、コロコロしたりして表し方を工夫してみよう。」 ・「色々なぺったんを組み合わせたらお花の形ができたよ。他の色も重ねてみたいな。ぺったんとコロコロを重ねてみたいな。」 ・「じぶんたちのぺっコロードでぜんこうのみんなをえがおにしたいなあ」（鑑賞の評価は、図工の時間に学級内で行う。） <p>○外国語でもこれから色の学習をすることを伝え、「ぺったんコロコロ」でつくった作品を外国語でも使ってコミュニケーションをしていくことに意欲を持つようにする。</p>				
1	<p>◆色を表す英語表現について、慣れ親しむ。</p> <p>○Let's listen HRT が色を聞き、その色のカードを渡す様子の動画を見せ、色を尋ねる表現を聞き取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T1 : Hello. T2 : Hello. T1 : <u>What color ?</u> (大きな声ではっきりと) T2 : <u>Yellow.</u> (大きな声ではっきりと) T1 : <u>Oh, yellow. Here you are./ I'm sorry.</u> T2 : Thank you. T2 : <u>What color?</u> (大きな声ではっきりと) T1 : <u>Green.</u> (大きな声ではっきりと) T2 : <u>Oh, green. Here you are./ I'm sorry.</u> T1 : Thank you. T2 : See you. T1 : See you.</p> </div> <p>○図工の学習を想起させ、にじいろぺっコロードをつくるためにクラスみんなで色カードを交換してから作品を制作できるように、単元を通した目標を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>にじいろぺっコロードをつくるために、ともだちというカードをこうかんしよう。</p> </div> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>いろをあらわすえいごのいいかたになれよう。</p> </div> <p>○Let's listen : ♪Rainbow 映像をもとに曲中にある色を表す英語表現を聞き取る。</p> <p>○HRT の後に続いて、色の言い方を練習する。 (red/yellow/pink/green/purple/orange/blue)</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>

モ ②	<p>○Classroom English Song</p> <p>○♪Rainbow に合わせ、色を表す英語表現に慣れる。</p> <p>○HRT の後に続いて色の言い方を発話し、色の言い方を練習する。 (red/yellow/pink/green/purple/orange/blue)</p> <p>○Let's game Key Word game をして HRT の発する英語表現を聞いたり、後につけて言ったりしながら、色を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p>				
モ ③	<p>○Classroom English Song</p> <p>○♪Rainbow</p> <p>○HRT の後に続いて色の言い方を発話し、色の言い方を練習する。 (red/yellow/pink/green/purple/orange/blue)</p> <p>○Let's game Key Word game をして HRT の発する英語表現を聞いたり、後につけて言ったりしながら、色を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p>				
2	◆友達の好きな色について、尋ねたり答えたりすることができる。				
モ ①	<p>○Classroom English Song</p> <p>○♪Rainbow</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div data-bbox="248 1066 876 1146" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クラスのともだちのすきないろをたずねよう。</p> </div> <p>○教師のデモンストレーションの動画や HRT と数名の児童のやり取りの会話を繰り返し聞き、おおよその会話の流れをつかむ。</p> <div data-bbox="248 1296 887 1912" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : Hello. C : Hello. T : <u>What color? (大きな声ではっきりと)</u> C : <u>Yellow. (大きな声ではっきりと)</u> T : <u>Oh, yellow. Here you are./ I'm, sorry.</u> C : Thank you. C : <u>What color? (大きな声ではっきりと)</u> T : <u>Green. (大きな声ではっきりと)</u> C : <u>Oh, green. Here you are./ I'm, sorry.</u> T : Thank you. T : See you. C : See you.</p> </div> <p>○HRT の後に続いて何度も発話をする。 ○ペアの友達とやり取りをする。</p>				<div data-bbox="911 1182 1525 1469" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

モ②	<ul style="list-style-type: none"> ○Classroom English Song ○♪Rainbow ○HRT とボランティア児童とのやり取りを見て、活動の流れを確かめる。 ○「What color?」を使いながら好きな色を尋ね合う。 ○好きな色を尋ねた際の困りや工夫を共有する。 				
モ③	<ul style="list-style-type: none"> ○Classroom English Song ○♪Rainbow ○HRT とボランティア児童とのやり取りを見て、活動の流れを確かめる。 ○「What color?」を使いながら、クラスみんなの好きな色調べをする。 				
3 モ①	<p>◆友達どうして色カードを交換することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Classroom English Song ○本時のめあてについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ともだちどうしていろカードをこうかんしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○教師のデモンストレーションの動画や HRT と数名の児童のやり取りの会話を繰り返し聞くことで、会話の流れを思い出すようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T : Hello. C : Hello. T : <u>What color?</u> (大きな声ではっきりと) C : <u>Yellow.</u> (大きな声ではっきりと) T : <u>Oh, yellow. Here you are./ I'm sorry.</u> C : Thank you. C : <u>What color?</u> (大きな声ではっきりと) T : <u>Green.</u> (大きな声ではっきりと) C : <u>Oh, green. Here you are./ I'm sorry.</u> T : Thank you. T : See you. C : See you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○色カードを交換し合う。 ○やり取りの中での困りや工夫できることを振り返り、共有する。 	や	や	や	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価</p> <p>◎色の言い方や、What color?を用いて尋ねたり、答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返し〉</p> <p>◎色カードを交換するために、<u>尋ね方に気をつけながら</u>、相手に伝わるように友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返しシート記述点検〉</p> <p>◎色カードを交換するために、<u>尋ね方に気をつけながら</u>、相手に伝わるように友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしようとしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返しシート記述点検〉</p> </div>
モ②	<ul style="list-style-type: none"> ○Classroom English Song ○本時のめあてについて確認する。 ○前時に交換した際の困りや工夫を確認する。 ○クラスの友達と工夫を生かして交換し合う。 ○やり取りの中での困りや工夫できることを振り返り、共有する。 				

モ ③	<p>○Classroom English Song</p> <p>○本時のめあてについて確認する。</p> <p>○前時に交換した際の困りや工夫を確認する。</p> <p>○クラスの友達と工夫を生かして交換し合い、振り返りを行い、振り返りシートを書く。</p>				
--------	---	--	--	--	--

本時の指導 (授業者 木村 友哉)

単元名 にじいろペッコロードをつくるために、ともだちというカードをこうかんしよう

3 / 3時間 モジュール①

本時のねらい 好きな色カードを交換するために、「What color?」を使いながら友達と何度も尋ね合ったり、尋ね合う際の困りや工夫を共有し、困りを解決したりすることを通して、友達の欲しいカードの色について尋ねたり、答えたりするようにする。

(評価規準) ※本時案に位置付ける

具体的な児童の姿 「What color?」「Red.」を用いて尋ねたり、答えたりしている。
 「What color?」「Red.」相手の目を見て尋ねたり答えたりしている。
 「What color?」「Red.」相手に伝わるような大きな声で尋ねたり答えたりしている。

時間	児童の活動	指導者の活動 ②評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
2分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up ○Classroom English Song</p>	<p>・児童の言いやすいスピードに調整しながら、楽しく歌えるようにする。</p>
1分	<p>Activities ○本時のめあてと活動を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ともだちどうしているカードをこうかんしよう。 </div>	<p>・前時までの学習をもとに、本時のめあてについて確認する。</p>
3分	<p>○教師のデモンストレーションの動画や HRT と数名の児童のやり取りの会話を繰り返し聞くことで、会話の流れを思い出すようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Hello. C : Hello. T : <u>What color?</u> (大きな声ではっきりと) C : <u>Yellow.</u> (大きな声ではっきりと) T : <u>Oh, yellow. Here you are./ I'm sorry.</u> C : Thank you. C : <u>What color?</u> (大きな声ではっきりと) T : <u>Green.</u> (大きな声ではっきりと) C : <u>Oh, green. Here you are./ I'm sorry.</u> T : Thank you. T : See you. C : See you.</p> </div>	<p>・数名のボランティア児童との会話を繰り返し聞いたり、一緒に発音したりすることで、キーセンテンスや色の表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>◎色の言い方や、What color?を用いて尋ねたり、答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返り〉</p> <p>◎色カードを交換するために、<u>尋ね方に気をつけながら</u>、相手に伝わるように友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返りシート記述点検〉</p> <p>◎色カードを交換するために、<u>尋ね方に気をつけながら</u>、相手に伝わるように友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしようとしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返りシート記述点検〉</p>
5分	<p>○教室を自由に歩き、友達と欲しいカードの色を尋ね合い、カードを交換する。</p>	<p>・大きな声ではっきりと色を尋ね合ったり、相手の目を見たりしながらやり取りをしてい</p>

		<p>る児童の様子を iPad で撮影し、次時でやり取りの工夫を考える際の手がかりにできるようにする。</p> <p>※やり取りが止まってしまう児童については、黒板を見ることで、やり取りの仕方を確認できるようにする。</p>
4分	<p>Comments</p> <p>○やり取りの中での困りや工夫できることを共有する。</p> <div data-bbox="256 577 842 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように声の大きさを工夫したいなあ。 ・アイコンタクトがまだまだできてなかったから頑張りたいな ・ジェスチャーをしている人や笑顔で話している人がいたからまねしたいなあ </div> <p>○HRT のコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習の中での困りや工夫できることを問うことで振り返り、次時以降の学習に生かしていけるようにする。

本時の指導 (授業者 入不二 裕子)

単元名 にじいろペッコロードをつくるために、ともだちというカードをこうかんしよう

3 / 3時間 モジュール②

本時のねらい 好きな色カードを交換するために、「What color?」を使いながら友達と何度も尋ね合ったり、尋ね合う際の困りや工夫を共有し、困りを解決したりすることを通して、友達の欲しいカードの色について尋ねたり、答えたりするようにする。

(評価規準) ※本時案に位置付ける

具体的な児童の姿 「What color?」「Red.」相手の目を見て尋ねたり答えたりしている。
 「What color?」「Red.」相手に伝わる大きな声で尋ねたり答えたりしている。
 「Here you are.」カードを渡すときに伝えている。
 「Nice!」友達にもらったカードを見てと褒めている。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)※支援を要する児童への手立て
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Song</p>	<p>・児童の言いやすいスピードに調整しながら、楽しく歌えるようにする。</p>
1分	<p>Activities</p> <p>○本時のめあてと活動を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ともだちどうしているカードをこうかんしよう。</p> </div>	<p>・前時までの学習をもとに、本時のめあてについて確認する。</p>
2分	<p>○前時に共有した、交換する際の困りや工夫を確認する。</p>	<p>・前時に共有した、交換する際の困りや工夫を確認することを通して、児童がコミュニケーションの工夫を意識して取り組めるようにする。</p>
6分	<p>○教室を自由に歩き、友達と欲しいカードの色を尋ね合い、工夫を生かしてカードを交換する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>C1: Hello. C2: Hello. C1: <u>What color?</u> (大きな声ではっきりと) C2: <u>Yellow.</u> (大きな声ではっきりと) C1: <u>Oh, yellow. Here you are./ I'm sorry.</u> C2: Thank you. C2: <u>What color?</u> (大きな声ではっきりと) C1: <u>Green.</u> (大きな声ではっきりと) C2: <u>Oh, green. Here you are./ I'm sorry.</u> C1: Thank you. C1: See you. C2: See you.</p> </div>	<p>・カードの色を尋ね合う際やカードを渡す際に既習事項を使ってコミュニケーションを図っている児童の姿を iPad で撮影し、次時でやり取りの工夫を考える際の手がかりにできるようにする。</p> <p>◎色の言い方や、What color?を用いて尋ねたり、答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返り〉</p> <p>◎色カードを交換するために、尋ね方に気をつけながら、相手に伝わるように友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返りシート記述点検〉</p> <p>◎色カードを交換するために、尋ね方に気をつけながら、相手に伝わるように友達同士で交</p>

		<p>換する色について尋ねたり答えたりしようとしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返りシート記述点検〉</p> <p>※やり取りが止まってしまう児童については、黒板を見ることで、やり取りの仕方を確認できるようにする。</p>
4分	<p>Comments</p> <p>○尋ねた際の新たに出た困りや工夫できることを共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に言われた色がなかったときなんて言ったらいいかわからなかったけど、「I'm sorry.」って試してみよう。 ・〇〇さんがカードを渡すときに「Here you are.」と言って渡していたのでまねしたい。 ・友達にもらったカードを見て「Nice!」と褒めている人がいたね。まねしたいなあ。 </div> <p>○HRTのコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<p>・今日の学習の中での困りや工夫できることを問うことで振り返り、次時以降の学習に生かしていけるようにする。</p>

本時の指導 (授業者 大西 一豊)

単元名 にじいろペッコロードをつくるために、ともだちというカードをこうかんしよう

3 / 3時間 モジュール③

本時のねらい 好きな色カードを交換するために、「What color?」を使いながら友達と何度も尋ね合ったり、尋ね合う際の困りや工夫を共有し、困りを解決したりすることを通して、友達の欲しいカードの色について尋ねたり、答えたりするようにする。

(評価規準) ※本時案に位置付ける

具体的な児童の姿 「What color?」「Red.」相手の目を見て尋ねたり答えたりしている。
 「What color?」「Red.」相手に伝わる大きな声で尋ねたり答えたりしている。
 「Here you are.」カードを渡すときに伝えている。
 「Nice !」友達にもらったカードを見てと褒めている。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法)※支援を要する児童への手立て
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Song</p>	<p>・児童の言いやすいスピードに調整しながら、楽しく歌えるようにする。</p>
1分	<p>Activities</p> <p>○本時のめあてと活動を確認する。</p> <p>ともだちどうしているカードをこうかんしよう。</p>	<p>・前時までの学習をもとに、本時のめあてについて確認する。</p>
2分	<p>○前時に共有した、交換する際の困りや工夫を確認する。</p>	<p>・前時に共有した、交換する際の困りや工夫を確認することを通して、児童がコミュニケーションの工夫を意識して取り組めるようにする。</p>
6分	<p>○教室を自由に歩き、友達と欲しいカードの色を尋ね合い、工夫を生かしてカードを交換する。</p> <p>C1 : Hello. C2 : Hello. C1 : <u>What color? (大きな声ではっきりと)</u> C2 : <u>Yellow. (大きな声ではっきりと)</u> C1 : <u>Oh, yellow. Here you are./ I'm sorry.</u> C2 : Thank you. C2 : <u>What color? (大きな声ではっきりと)</u> C1 : <u>Green. (大きな声ではっきりと)</u> C2 : <u>Oh, green. Here you are./ I'm sorry.</u> C1 : Thank you. C1 : See you. C2 : See you.</p>	<p>・カードの色を尋ね合う際やカードを渡す際に既習事項を使ってコミュニケーションを図っている児童の姿を iPad で撮影しておく。</p> <p>◎色の言い方や、What color?を用いて尋ねたり、答えたりしている。 <行動観察・ふり返り></p> <p>◎色カードを交換するために、尋ね方に気をつけながら、相手に伝わるように友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・ふり返りシート記述点検></p> <p>◎色カードを交換するために、尋ね方に気をつけながら、相手に伝わるように友達同士で交換する色について尋ねたり答えたりしようとしている。 <行動観察・ふり返りシート記述点検></p>

		<p>※やり取りが止まってしまう児童については、黒板を見ることで、やり取りの仕方を確認できるようにする。</p>
4分	<p>Comments <input type="checkbox"/> これまでにできた工夫を振り返り、共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクトがよくできたから、友達と もっと仲良くなれた。 ・相手に言われた色がなかったとき「I'm sorry.」と言えた。 ・カードを渡すときに「Here you are.」と言って渡せた。 ・友達にもらったカードを見て「Nice!」と褒めることができた。 </div> <p><input type="checkbox"/> HRT のコメントを聞く。</p> <p>Greetings <input type="checkbox"/> おわりのあいさつをする。</p>	<p>・これまでにできた工夫を振り返り、今後の学習への意欲を高めることができるようにする。</p>